

# ノウフク・アワード2022応募用紙(記入例)

【JA や NPO 法人など中間支援組織が実施主体】

## 1 応募者の概要

運営主体(企業・団体・法人名等)	NPO ほうじん のうふくしゃかいふくしきょうぎかい
事業所名	NPO 法人ノウフク社会福祉協議会
代表者名	(ふりがな) のうふく たろう 氏名 農福 太郎 (役職: 代表理事)
所在地・連絡先・担当者名等	住所 〒〇〇〇-△△△△ 〇〇県△△市□□町××-××
	電話番号: FAX 番号:
	メールアドレス:
	ホームページ(URL)
	担当者名: 農林 福太郎 (役職: コーディネーター)
法人等の種類	<input type="checkbox"/> 農業法人 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> 株式会社 <input type="checkbox"/> 特例有限会社 <input type="checkbox"/> 合同会社 <input type="checkbox"/> その他( )
取組主体	<input type="checkbox"/> 農林漁業経営体 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> 特例子会社 <input type="checkbox"/> JA 等組合 <input type="checkbox"/> 生協 <input type="checkbox"/> 地方自治体 <input type="checkbox"/> その他( )
障害者等の就労等の形態	<input type="checkbox"/> 農林漁業経営体等に雇用 <input type="checkbox"/> 障害福祉サービス事業所に就労 <input type="checkbox"/> 特例子会社に雇用 <input checked="" type="checkbox"/> 農林漁業経営体等に施設外就労 <input type="checkbox"/> その他( )
設立年月日	(西暦) 2010年5月 (設立 11年目)
農福連携開始年月日	(西暦) 2010年5月 (開始 11年目)
取り組んでいる事業	<input checked="" type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 水産業 <input type="checkbox"/> 加工業 <input type="checkbox"/> その他( )
組織の変遷	2010年5月 NPO 法人ノウフク社会福祉協議会設立 2015年5月 マッチングによる農福連携開始
福祉サービス	<input type="checkbox"/> A 型事業所 <input type="checkbox"/> B 型事業所 <input type="checkbox"/> 生活介護 <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
連携企業、事業所名等(福祉サービス)	県内福祉サービス事業所、農業経営体、JA、県農林水産課、県福祉課 ※グループ内連携の場合は連携企業名等を記載 <input type="checkbox"/> A 型事業所 <input checked="" type="checkbox"/> B 型事業所 <input type="checkbox"/> 生活介護 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 該当なし
農福連携の体系図	<pre> graph TD     NPO[NPO 法人ノウフク社会福祉協議会] -- 作業請負 --&gt; WS[福祉サービス事業所]     NPO -- 依頼 --&gt; AG[農業経営体]     WS &lt;--&gt;  農作業委託契約  AG     NPO -- マッチング --&gt; AG     </pre>
障害者数等	雇用者数又は利用者数: 100人 うち農業等に関わっている人数: 100人
取得済みの資格等	<input type="checkbox"/> 認定農業者 <input type="checkbox"/> 6次産業化認定事業者 <input type="checkbox"/> GGAP <input type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> その他の GAP <input type="checkbox"/> 有機 JAS <input type="checkbox"/> ノウフク JAS <input type="checkbox"/> エコファーマー <input type="checkbox"/> その他( )



**5. 取組の工夫(必須)** ※取組に当たって工夫されている点を400字以内で箇条書きにて記入してください

- ◆農作業請負単価については、健常者が当該作業を行った場合の賃金をベースに単価を決め、福祉サービス事業所はその単価で作業を請け負うこととしている。
- ◆また、草取りについては、面積によって単価を決め、作業日数を決めずに、福祉サービス事業所の力量に応じて委託した面積の草取りを行ってもらうこととしている。
- ◆福祉サービス事業所の職員も農業は素人のため、サポーター制度を導入し、農業経営体に代わってサポーターが農作業の指導をすることで、農業経営体に負担がかからないようにしている。
- ◆農業経営体から年間の農作業スケジュールを提出してもらい、福祉サービス事業所に渡すことで、福祉サービス事業所でも施設外就労での農作業スケジュールを立てやすくしている。

**6. 取組の効果(必須)** ※取り組んだことにより、①障害者等、②農林水産業、③地域に対してどのような効果を生み出しているかをそれぞれ400字以内で箇条書きにて記入してください。

① 障害者等(工賃や賃金の向上や障害者の自立、一般就労につながった事例、多様な人々が働くことができる職場環境の創出などについて記載してください)

- ◆障害者等も農作業を繰り返すことにより確実にスキルアップしており、農作業を委託する農業経営体も増え、様々な作業を委託することから、障害者は一年を通じて農作業を行っており、工賃も県平均を上回るどころも出てきている。
- ◆福祉事業所によって、障害の度合いや障害の種類が異なるほか、得手不得手の農作業があるため、障害者の能力に応じた農作業を依頼することで、ミスマッチを防いでいる。
- ◆農業経営体も、トイレや休憩所の整備等を行うところもあり、農作業中の安全管理も当法人で安全管理マニュアルを作成し、双方に渡すことで、事故等の防止を図っている。
- ◆福祉サービス事業所の中には、農作業でスキルアップし、県内の農業経営体に就職した事例がある。
- ◆障害者に対する理解が深まり、お互いが寄り添い、助け合おうといった雰囲気地域に芽生えており、障害者だけでなく、引きこもりの方など農業を通じて多様な人が活躍できる環境ができていく。

② 農林水産業(取組を通じて荒廃農地等の減少、労働力の確保、経営の安定、生産性の向上や収益の向上等、地域の農林水産業の維持・発展等にどのような効果を及ぼしているかを記載してください)

- ◆障害者は地域にとって不可欠な労働力となっており、地域農業の維持に大きく貢献している。
- ◆農業経営体の中には労働力が確保できたことにより、生産性向上や収益向上につながり、規模拡大や新たな農作物の生産に取り組む者も出てきている。
- ◆福祉サービス事業所に農作業を委託する農業経営体は取組開始から 4 倍以上増え、委託面積も 9 倍に増加  
県内にある特別支援学校からも、農業体験などで障害者を受入れる農業経営体もあり、多様な人が暮らしていける社会づくりにつながっている。

③ 地域(地域内外との交流、地域コミュニティの維持・再生、地域内連携による地域活性化等)につながっている事例を記載してください)

- ◆こうした取組が、県のローカルニュースで取り上げられたことから、県内はもちろんのこと県外から視察に訪れる県の関係者や JA 等が増え、県や市町村主催の農福連携セミナーに講師として呼ばれる機会が増えた。
- ◆取組を始めたと考えている地域等からもアドバイスを求められる機会が増え、新たな連携が生まれている
- ◆農作業を福祉サービス事業所に委託することで、高収益作物に転換した農業経営体や、ノウハウ JAS や GAP 取得した経営体も現れている。
- ◆農福連携を通じて、障害者に対する理解が深まり、地域の農業や地域に明るい未来の兆しが見え始めている。

**7. 取組内容がわかる写真等**

※写真、図表等を貼付し、20文字以内で説明を記入してください。取組内容を代表する写真を必ず3枚以上貼付してください。

※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないように十分注意してください。


**8. 表彰等の受賞歴(該当があれば記入)**

表彰名等(受賞年度)	主催者

9. 取組に関する PR・エピソード(自由記入、写真、PR 動画<sup>④</sup>等添付可)。1200 時程度

- ① 記入欄には指定された文字数の範囲内で記入してください(文字の大きさも、当初の設定から変更しないでください)。
- ② ノウフク・アワードは、農福連携の普及啓発を目的に、表彰された取組内容はもちろんのこと、優良な取組事例を全国へ発信することとしており、応募用紙に記載・掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及びノウフクポータルサイト(ノウフク Web)への掲載並びに地方公共団体への情報提供等(農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など)に使用することがございますので、あらかじめ御了承ください。(個人名については公表、使用はいたしません。)
- ③ 提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。
- ④ 「9. 取組に関する PR・エピソード」に PR 動画を貼付する場合は、動画共有サイト(YouTube / Vimeo 等)やクラウドストレージサービス(OneDrive / iCloud / Dropbox / Googleドライブ)等にアップロードの上、URL を記入してください。